

コラム④ 先行研究の役割と読み方

1 先行研究の役割

卒論はレポートと同様に自分の頭の中に入っていることだけでは書くことができません。すでにどんな研究が行われ何が明らかになっているのかを把握するためにも、先行研究をきちんと読むという作業が必要になります。卒論においてレポート以上に重視しなくてはならない先行研究の役割を5つ見ていきましょう。

【先行研究の役割】

- ①研究蓄積を知る
- ②先行研究からテーマを導く
- ③自分の考えを補強する
- ④研究方法を探る
- ⑤論文の書き方を学ぶ

図④-1. 先行研究の役割

(1) 研究蓄積を知る

レポートと卒論の大きな違いの1つに自分で課題を見つけるというものがあります。自分で課題を見つけるためには、すでにどんな研究が行われているのか知る必要があります。先行研究と同じことをしても、そこには学問的意義も社会的意義も見出せません。

また、指導教員から「これをテーマにしたらいんじゃない？」と勧められて取り組む人もいますが、その場合もなぜそれがテーマとして成り立つのか、問いとして取り組む意義があるのかを自分自身が理解しなくてはなりません。

自分の研究テーマについてすでにどのような研究蓄積があるか把握すること、これは卒論に取り組む第一歩です。

(2) 先行研究からテーマを導く

研究蓄積を知ることで、まだ明らかになっていないこと、課題として残っていることが見えてきます。コラム③では研究テーマを決めて問いを立てる際、先行研究を参照する方法を紹介しましたが、先行研究の役割の1つに研究テーマを見つけ問いを立てるというものが

あります。

(3) 自分の考えを補強する

レポートで考察する際も、先入観や偏見に基づいた考えではないことを示すために必要なデータや他の研究者の指摘を引用してきました。これは卒論にも共通することです。最終的に先行研究と全く同じことを繰り返し述べているだけとなってしまうのは避けませんが、考察の途中で先行研究を取り入れることでより説得力のある内容になります。だからこそ、どこでどんなことが言われているのか、先行研究を読んで勉強することが求められます。

(4) 研究方法を探る

先行研究を読むとき、ついつい結論ばかりに意識が向かいがちですが、そこまでの過程も重要です。例えば、調査対象は異なるけれども調査方法を参考にすることが可能です。実験方法、アンケート調査、インタビュー調査などのデータ収集の方法として、先行研究から学べるものは少なくありません。

(5) 論文の書き方を学ぶ

論文を書くという経験は卒論が初めてという人が多いと思います。そこで論文の構成や独特の言い回しの参考にするために、先行研究の論文を読んでみましょう。特に引用方法は分野によって異なるので、自分の分野の論文で使われている方法を知るうえで役立ちます。

2 先行研究の読み方

ひとことで「先行研究」と言ってもその役割は様々です。次に、その読み方を見ていきましょう。卒論内で先行研究の効果を十分引き出すためには、読み方もポイントがあります。

(1) 一本で完結するわけではない先行研究

先行研究の重要性がわかったら、早速何か 1 つ先行研究を読んでみましょう。書かれている内容を十分理解できたでしょうか？

おそらく聞きなれない専門用語や概念、理論なども出てきたと思います。そのためこの先行研究を理解するためには、これらについて説明してある概説書を読んだり、各分野の専門用語集・事典などを調べたりする必要があります。

また一本の論文の中にも、他の論文からの引用があったり、別の資料に言及があったりします。これらの論文や資料にも触れてみましょう。芋づる式に次々と読まなければならない先行研究が出てきます。

卒論と比べてレポートは字数が少なく問題設定も小さいため、そこまで先行研究の調査

や読解に時間をかけなくて済んだかもしれません。しかし、卒論ではこうした先行研究を学ぶことも必要な過程となります。

先行研究が少なすぎるテーマの場合、とっかかりがを見つけ辛いですが、反対に先行研究が多すぎるテーマの場合、先行研究の把握だけでも膨大な時間がかかります。余裕を持った研究計画を立て（コラム②）、テーマから適切なサイズの問いに絞る（コラム③）重要性はここでも現れてきます。



論文調査のイメージは芋づる！

図④-2. 先行研究を探すイメージ

(2) 批判的に読むとは？

先行研究を読むとき「なるほど、そういうことだったのか！」と納得するだけで終わっていませんか？

もちろん知らないことを学ぶ際素直に受け取る姿勢も必要ですが、何でもかんでも「そのまま受け取る」では単なる勉強です。皆さんには卒業研究をしたうえで論文を執筆することが求められています。

そのためにも実践してもらいたいのが「クリティカル・リーディング」（批判的な読み）です。先行研究で使われている研究手順は適切か、解釈はその一種類だけでいいのか、条件を変えてもこの結論は適用できるのか、などの様々な視点から再検討してみてください。

批判点を見つけることは簡単ではありませんが、この読み方ができることで問題設定を立てたり、自分の研究意義を説明したりするといった作業が行いやすくなります。